# With コロナでのコンテンツ作成における留意点 (取材、写真・動画の撮影および選定)

2020/11/19

(一財) 沖縄観光コンベンションビューロー デジタルマーケティングチーム

OCVB が Web サイトやパンフレット、営業資料などで作成・活用するコンテンツ(写真、動画、記事など)について、「with コロナでの沖縄観光」を発信していく必要がある。ついては、下記留意点に沿った旅行体験のイメージを伝えられるような文章や写真・動画の作成を心がけることが望ましい。ただしすべての項目が実施されていることを無理に伝える必要はなく、むしろ、体験を紹介する流れの中で下記の対策が「取られていない」ようなイメージにならない点に注意する。またサービス性質上、コロナ対応がされているか不安を持たれやすいコンテンツであれば、具体的なコロナ対策について強調した紹介を検討する。

#### ※取材先選定の基準について

取材に際しては、事業者側が県の要請する「RICCA(リッカ)【沖縄県新型コロナ対策パーソナルサポート】」および「沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー」制度への協力、もしくは「感染症拡大予防ガイドライン」の作成、をしていることを条件とする。取材前には、事業者が「感染防止対策徹底宣言」申請の際に提示した「感染防止策」や、作成しているガイドラインの内容を確認すること。まだ作成されていない場合は、取材時までにガイドラインを作成し、それに沿ったサービス内容を取材出来るよう調整を行うこと。

・RICCA(リッカ)【沖縄県新型コロナ対策パーソナルサポート】

https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/oki\_corona\_line\_oshirase.html

- ・沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー(ステッカー掲載事業所・店舗等一覧あり)
- https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/shoko/marketing/new\_corona/index.html
- ・沖縄県新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドラインの作成について

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/koho/20200511.html

#### 留意点

### 原則:3密を避ける

- 1. 密閉空間(換気の悪い密閉空間である)
- 2. 密集場所(多くの人が密集している)
- 3. 密接場面(互いに手を伸ばしたら届く距離での会話や共同行為が行われる)

### 1. サービス提供事業者側の感染防止対策内容

- 従業員および観光客の手洗い・消毒・マスク着用の促進・呼びかけ
- こまめな換気
- ソーシャルディスタンスの確保(出来れば2m、最低でも1m)
  - ▶ 来訪者同士の接触を避ける・距離を開ける対応
  - ➤ 行列を作らない 列間隔距離の確保 (約1 m間隔の確保)
  - ▶ 飛沫感染防止パネル・カーテンの設置
  - ▶ (距離や防止パネルが確保できない場合) 客対応の時になるべく正面に立たない

※提供されたサービスが、写真・映像として、上記とは異なるイメージになる可能性のある場合は、サービス提供事業者側で合理的な対策・説明がなされていれば、その点を文章中で補足した上で使用すること。特段の理由がなく、守られていない場合はその内容はコンテンツとして採用しない。

# 2. 体験者 (モデル・ライター等) が体験時や、写真・映像に映る際、留意する防止対策

- 全般
  - ▶ マスク (フェイスシールド) の着用
    - ◆ 高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずしてもかまわない
  - ▶ 他の人と十分な距離(出来れば2m、最低でも1m)を取る。
  - ▶ 座席では他の人との間に、なるべく一つ飛ばしで座る
  - ▶ 会話する際はなるべく正面に立たない
  - ▶ 公共交通機関内・エレベーター・密室した部屋などでは会話は控えめに
  - ▶ 歌や応援などは避ける
- 食事シーン(食堂・レストラン等)
  - ▶ 料理は大皿でなく個々に
  - ▶ 食事中の会話は控えめに

### 3. FAQ

- Q.複数の体験者がいた場合、体験者同士でも対策をとっているイメージにする必要があるか? A.体験者同士であれば、かまわない。
  - 一緒に旅行をする関係性であれば接触に関しては構わない(やむを得ない)という判断。 ただし、実際は他人同士のケースが多いので、無理に接触しているシーンなどを撮る必要は ない
- Q. ビーチや屋外でのシーンの際でマスクを着用していない場合、「熱中症対策」として着用していないことに触れたほうがよいか?
- A.コンテンツ上、自然にその点に触れられるのであれば、紹介できるとベター。

ただし触れることで訴求イメージが損なわれる場合などは無理に触れなくて構わない。

(例:イメージ動画内にテロップで無理に入れこむなど)

※紹介時の参照先:厚生労働省「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\_coronanettyuu.html

# With コロナでのコンテンツ作成チェックリスト

1. 紹介施設の取組状況の確認
□「沖縄県感染防止対策徹底宣言ステッカー」制度への協力
□「感染症拡大予防ガイドライン」の作成
□感染防止策や、作成しているガイドラインの内容確認
2. サービス提供事業者側の感染防止対策内容(コンテンツ内で紹介・露出するもの)
□従業員および観光客の手洗い・消毒・マスク着用
□換気状況
□ソーシャルディスタンスの確保(出来れば2m、最低でも1m)
□その他:
※コンテンツ内でのイメージが、上記とは異なる場合は、サービス提供事業者側より合理的
な対策・説明を受け、それが伝わるようなコンテンツとすること
3. 体験者(モデル・ライター等)が体験時や、写真・映像に映る際、留意する防止対策
● 全般
□マスク(フェイスシールド)の着用
□他の人と十分な距離(出来れば2m、最低でも1m)を取る。
□屋内施設では会話は控えめに
● 食事シーン(食堂・レストラン等)
□料理は大皿でなく個々に
□食事中の会話は控えめに
□その他:

以下、参考項目。

# 1. 旅行者の安全・安心アクションプラン 沖縄 Tour Style With コロナ (関連部分抜粋) https://www.pref.okinawa.jp/site/bunka-sports/kankoshinko/ukeire/actionplan.html

# (1) 全旅程共通の取り組み

観光関連の各業種・分野が取り組むべき対策の中で、共通する取り組みは以下の通りである。

- ① 基本的対策
- ・ 従業員の・手洗い・消毒・マスク着用、健康管理
- ・ 旅行者へのマスク着用の促進
- ② 3 密の防止対策 (密接・密集・密閉)
- ・ 手続のオンライン化、システムのデジタル化の推進
- ・ 人数コントロールの実施
- ・ 混雑状況の提供と利用時間の分散化
- ・ 休憩時間の分散
- ・ エレベーターの重量センサー調整 (少ない人数でのブザー発動)
- ・ 関係者以外の立入禁止 など
- ③ 対人距離の確保 (接触・飛沫感染対策)
- ・ 動線・空間デザインの整備
- ・ ソーシャルディスタンスの確保
- ・ キャッシュレス化の促進及び金銭授受時のトレイの活用促進
- ・ 業務範囲・フローに応じたゾーニング
- ・ 飛沫感染防止パネル・カーテンの設置
- ・ 客対応の時に正面に立たない など
- ④ 換気対策
- こまめな換気
- ・ 休憩施設の換気 など
- ⑤ 施設・設備・物品の消毒対策
- ・ 消毒・除菌の徹底(高頻度接触箇所の洗い出し)
- ・ 車いすなど貸出物の十分な消毒 など

#### 2. 沖縄県新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン チェックリスト

https://www.pref.okinawa.lg.jp/site/chijiko/koho/20200511.html

#### ①密閉空間を避ける

入り口のドアや窓を開け、常時換気扇を回すなど、換気対策を十分とります。 個室などの密閉した部屋は使用しません。

#### ②密集場所を避ける

人と人の間隔(2mを目安)を十分に確保します。

接客席は対面にならないよう配置を工夫し、隣同士の間隔も可能な限り広くします。

会計レジやカウンターなどで接客が対面となる場合、アクリル板やビニールカーテンなどで遮蔽します。

#### ③密接場面を避ける

店内が混雑しないよう、必要に応じて入店制限を実施します。

会計時や商品受け取り時など、間隔を開けて並ぶよう、床にテープを貼るなどして誘導します。

#### 2 その他

咳エチケット、こまめな手洗い、手指消毒を徹底します。

従業員及び入店者に対するマスクの着用を徹底します。

マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石けんと流水で手洗いを行います。

入口及び施設内に手指消毒設備を設置します。

複数の人が触れる場所は、適宜消毒や清掃を行います。

テーブル、ドアノブ、レジなどの高頻度に接触する箇所は、特に注意して消毒を行います。 休憩スペースの利用人数を制限します。

発熱や風邪、味覚障害などの症状がある方の入店制限や従業員の勤務制限を実施します。

ユニフォームや衣服はこまめに洗濯します。

トイレにおけるハンドドライヤー、共通タオルの使用を停止します。

ゴミを回収する人は、マスクや手袋を着用します。

#### 3. 新型コロナウイルスに関する Q&A(一般の方向け) 厚生労働省

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryou/dengue\_fever\_qa\_00001.ht ml

# 「新しい生活様式」の実践例

#### (1) 一人ひとりの基本的感染対策

#### 感染防止の3つの基本:①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 口人との間隔は、<u>できるだけ2m(最低1m)</u>空ける。
- 口会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 口外出時や屋内でも会話をするとき、<u>人との間隔が十分とれない場合は、症状がなくてもマスク</u>を 着用する。ただし、夏場は、熱中症に十分注意する。
- 口家に帰ったらまず<u>手や顔を洗う</u>。 人混みの多い場所に行った後は、できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 口<u>手洗いは30秒程度</u>かけて<u>水と石けんで丁寧に</u>洗う(手指消毒薬の使用も可)。
- ※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

## 移動に関する感染対策

- 口感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 口発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。接触確認アプリの活用も。
- 口地域の感染状況に注意する。

## <u>(2)日常生活を営む上での基本的生活様式</u>

- 口まめに<u>手洗い・手指消毒</u> 口咳エチケットの徹底
- 口こまめに換気(エアコン併用で室温を28℃以下に) 口身体的距離の確保
- □ 「3密」の回避(密集、密接、密閉)
- ロー人ひとりの健康状態に応じた運動や食事、禁煙等、適切な生活習慣の理解・実行
- □ 毎朝の体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養













(3) 日常生活の各場面別の生活様式

#### 買い物

- 口通販も利用
- □1人または少人数ですいた時間に
- 口電子決済の利用
- 口計画をたてて素早く済ます
- ロサンブルなど展示品への接触は控えめに
- ロレジに並ぶときは、前後にスペース

#### 娯楽、スポーツ等

- 口公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 口筋トレやヨガは、十分に人との間隔を もしくは自宅で動画を活用
- ロジョギングは少人数で ロすれ違うときは距離をとるマナー
- 口予約制を利用してゆったりと
- 口狭い部屋での長居は無用
- 口歌や応援は、十分な距離かオンライン

#### 公共交通機関の利用

- 口会話は控えめに
- 口混んでいる時間帯は避けて
- 口徒歩や自転車利用も併用する

#### 食事

- 口持ち帰りや出前、デリバリーも
- 口屋外空間で気持ちよく
- 口大皿は避けて、料理は個々に
- 口対面ではなく横並びで座ろう
- 口料理に集中、おしゃべりは控えめに
- 口お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

#### イベント等への参加

- 口接触確認アブリの活用を
- 口発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

#### <u>(4)働き方の新しいスタイル</u>

- ロテレワークやローテーション勤務 口時差通勤でゆったりと ロオフィスはひろびろと
- 口会議はオンライン 口対面での打合せは換気とマスク
- ※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成

# 4. <「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント>

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431\_coronanettyuu.html

#### (1) マスクの着用について

高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、 屋外で人と十分な距離(少なくとも2m以上)が確保できる場合には、マスクをはずすように しましょう。

マスクを着用する場合には、強い負荷の作業や運動は避け、のどが渇いていなくてもこまめに 水分補給を心がけましょう。また、周囲の人との距離を十分にとれる場所で、マスクを一時的 にはずして休憩することも必要です。

外出時は暑い日や時間帯を避け、涼しい服装を心がけましょう。

#### (2) エアコンの使用について

熱中症予防のためにはエアコンの活用が有効です。ただし、一般的な家庭用エアコンは、空気を循環させるだけで換気を行っていません。新型コロナウイルス対策のためには、冷房時でも窓開放や換気扇によって換気を行う必要があります。換気により室内温度が高くなりがちなので、エアコンの温度設定を下げるなどの調整をしましょう。

### (3) 涼しい場所への移動について

少しでも体調に異変を感じたら、速やかに涼しい場所に移動することが、熱中症予防に有効です。一方で、人数制限等により屋内の店舗等にすぐに入ることができない場合もあると思います。その際は、屋外でも日陰や風通しの良い場所に移動してください